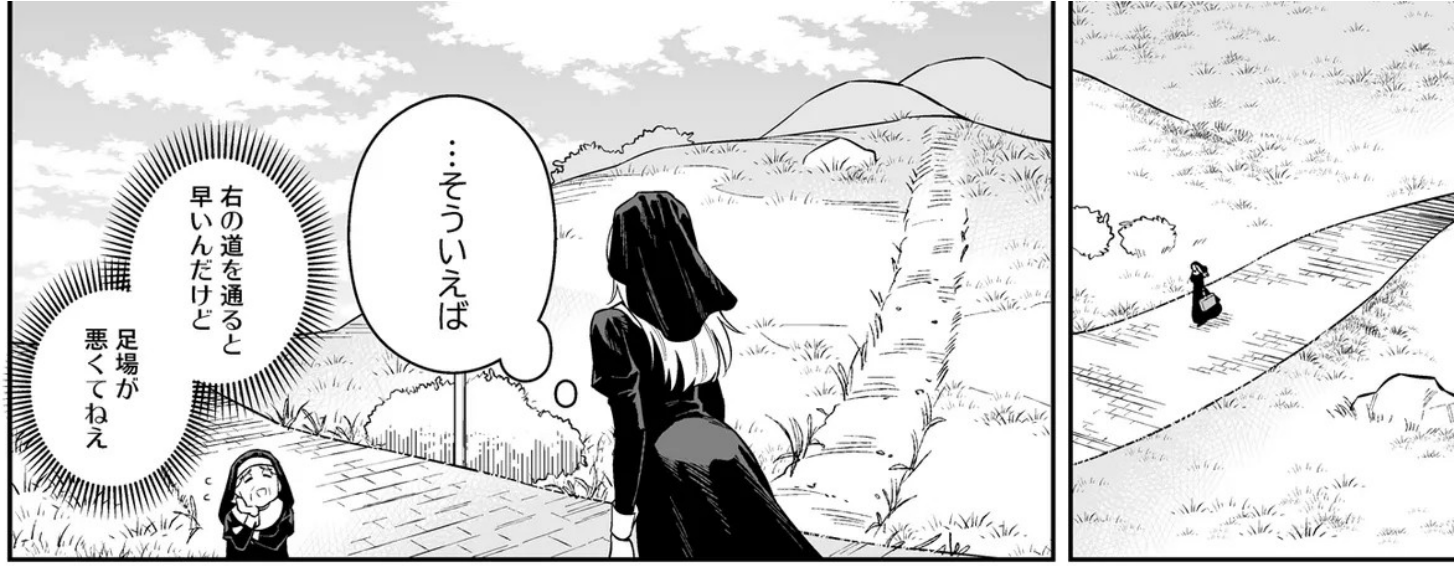
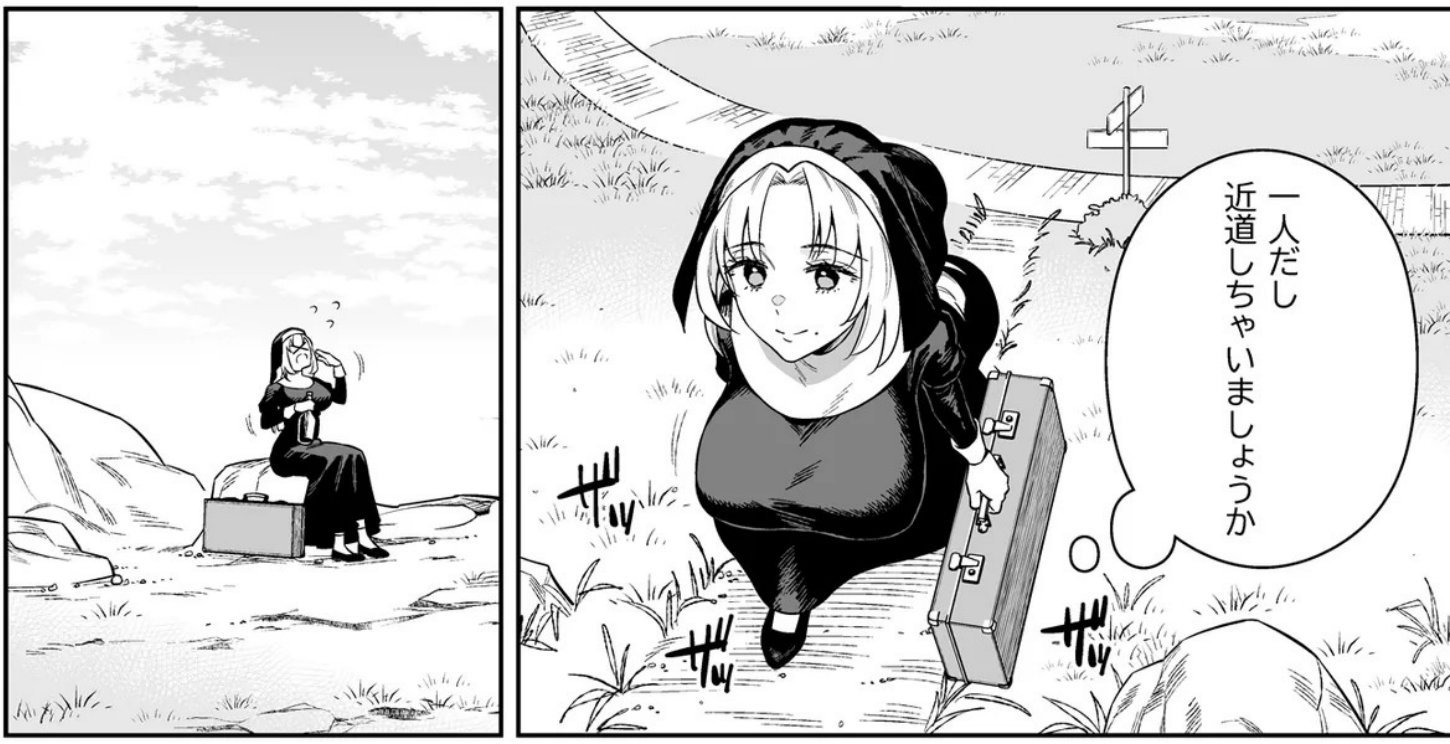

シスター・サラ
本当に一人で大丈夫ですか
神父様！
ご心配には及びません
二日で戻りますので
私はサラ
この教会でシスターとして暮らしています
今日は隣村の子供たちに勉強を教えに行く日です
以前は他のシスターと一緒でしたが足を悪くされてしまい
初めて一人で伺うことになりました
膝がねえ
どうにもねえ


…そういえば
右の道を通ると早いんだけど
足場が悪くてねえ


一人だし近道しちゃいましょうか

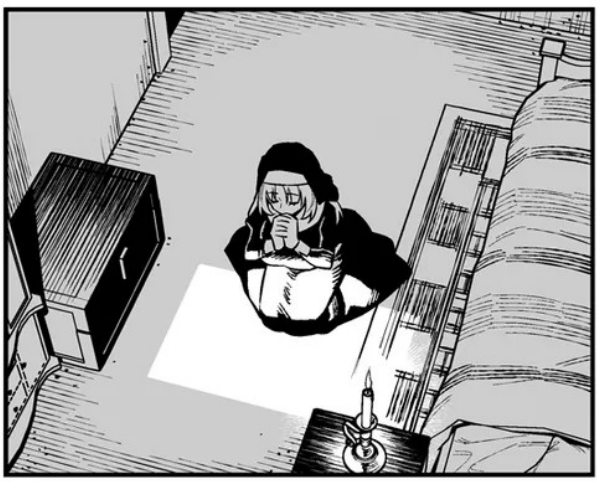

あら？
かわいそうに…
こんなところに根付いてしまって…

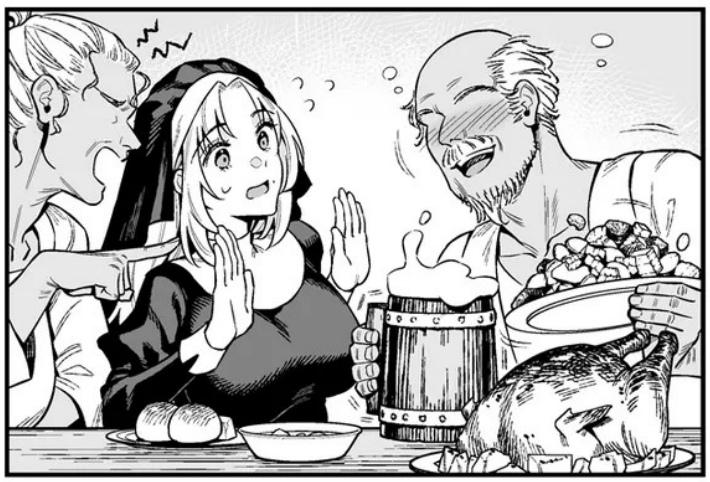

スル…
ちょろ…
ちょろろ
ポタ
ポタポタ
ちょろろろ…
これで
どうかしら…
ドキ
ドキ
少しでも
元気になって
くれると
いいのですけど…
ムク…
ムク…




シスター・サラだ！








そういえば…
あの植物は
どうなったでしょう


私と
したことが
水分が必要とは言え
はしたない真似を
してしまいました…
まあ！
ずいぶん
大きくなって
この辺りでは
見たことのない
種類の生き物ですね
うに
うに
うに
変わった
模様……
あなたのことは
〝まだらちゃん〟と
呼びましょう
！
しゅるる…


待ってください！
私水を持ってきました
ガシャン
ビビビ
ガーン
パリーン
アアアア…
み水じゃだめなんですか…？
そんな…
うぅぅぅ…
うぅぅぅ…
うぅぅぅ…


あ
あっ
いけません…
にゅる
にゅる…
にゅる…
私は…
身も心も…
神に捧げた身です
こんなこと…
赦されませんっ…
うぃゅる
うぃゅる
うぃゅる
ゴゴゴゴッ
あッ
んん…ッ…
パタタッ
…わっ…
わかりました…
出しますっ
出しますから…
びゅるっ


ビクッ…
う…
…ん……
ふう…っ…
ビクッ…
ぜゅるっ
ぜゅるる…
ぜゅぷっ
ゴプン…
ゴプン…
ああ…ッ
ぢゅッッ
ビクビクッ
ビクビクッ
うぐぐ…
もう…
吸っても…
出ません……っ
ヌ…
ヌル…
ビクビクッ…
ビクビクッ…
…離してください…ッ…
ヌル…
ヌチ…
はーッ
はーッ
はーッ
ヌチ…
ヌチ…
うぐぐ…


…ッ
ん…
ヒクン
ヒクン
ヒクン
ヌトォ…
ビクッ
…へ……？
あっ…
な…
なにを…っ
ツプ
ヌプヌプ
ニュルニュル…
ヌル…
あ…あ…
いや…あ…
はッ
はッ
はッ
しゅるる…
しゅる…
ヌチュ…
クチュ…
ヌリュ…


あ…
ひッ…
いッ…
痛…い…っ
メリメリ
ぐちゅ
ぐちゅ
うぃゅる
まだらちゃん
やめて…
お願いです…
抜いてください…
うぃゅる
うぃゅる
ちゅ
ちゅ
ちゅ
は～ッ
は～ッ
は～ッ
ふぅ…ッ!?
ビクッ
お腹の中で…
太くなって…ッ
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり
ガクガク
ガクガク
あ…ああ…っ…
あっ…あ…あ

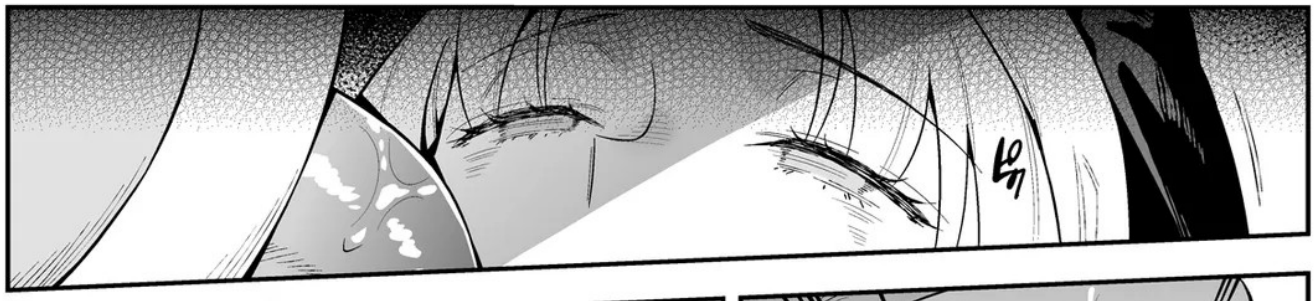

力が…
入らない…
もう…
目も開けて
いられないほど…
ああ…神よ…
わたしは…
このまま
死ぬのでしょうか…


ペシッ
ペシッ
シュル…
ズルル…
ビュッ
ビュッ
ビュルッ
ん…
ゴク…
ゴク…
ンクン…
ンクン…
……
ん…


ボーン…
ボーン…


…もう
こんな時間か
ボーン…


まだ
帰らないとは…
サラ…
何かあったの
だろうか…




…!!


…ッえ…
ごほッごほ…ッ
ごほ…ッ…
…ごぼッ…
…!?
わたし…
生きてる…

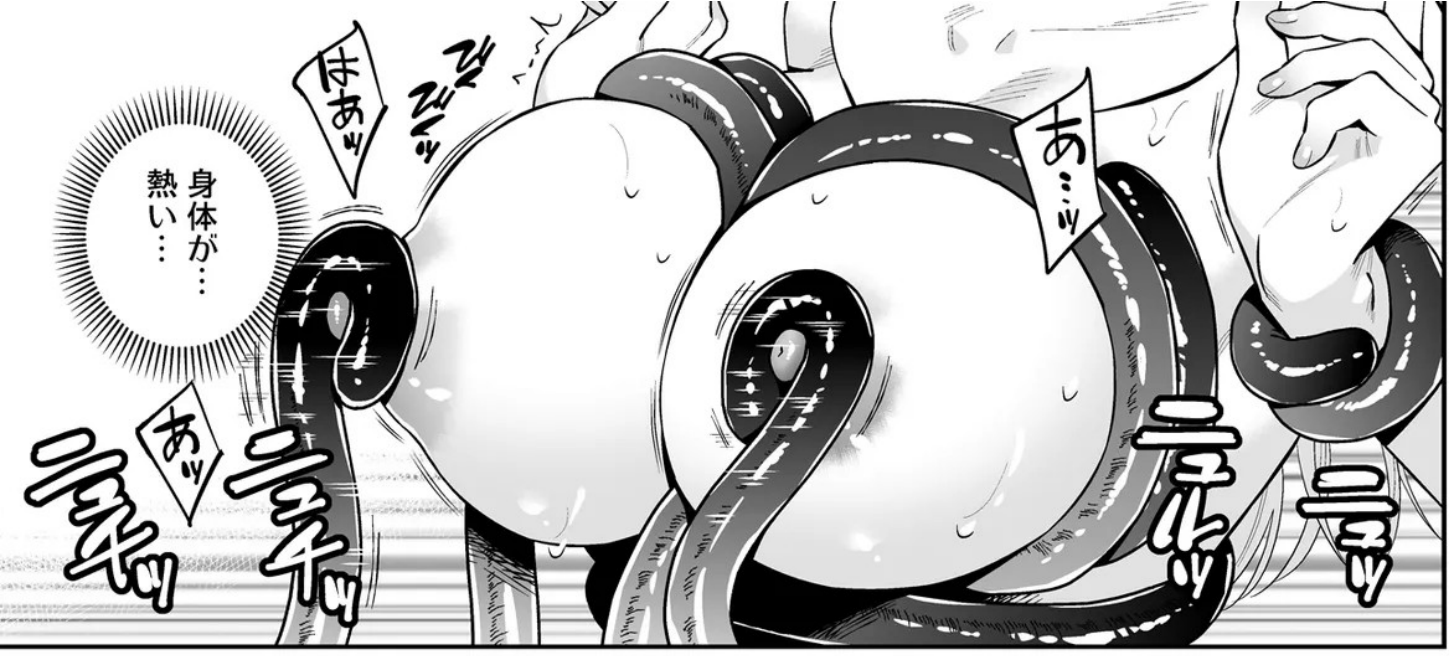

口の中が
甘くべたつく…
まだらちゃんに
何か…
飲まされてた
みたいだけど…
こ…
こんなに
大きくなるなんて…
うぢゅる…
うぢゅる…
ぐいっ


…なんだか…
さっきと違って
触り方が優しい…
シュル…
シュル…


お腹いっぱいに
なったから…？
ニュル
あぃ
まだらちゃん…
あの…
私…もう
帰らないと…
シュルッ


シュルル…
優しい…けど…
離してはくれないんですね…
シュル…
ニュル…
シュル…
シュルル…


ギュウウッ
…ッん
…や…
やめ…
たゅん
たゅん
たゅん
は…ッ…
は〜〜…
は〜〜…
は〜〜…
はッ
あ…ッ
ん…ッ
ぴく…
ぴくッ
ぐにぐにぐに






まだらちゃんに
触れられるの…
嫌じゃない…
あッ
あぁ♥
あッ
ビッ♥
ビッ♥
ビッ♥

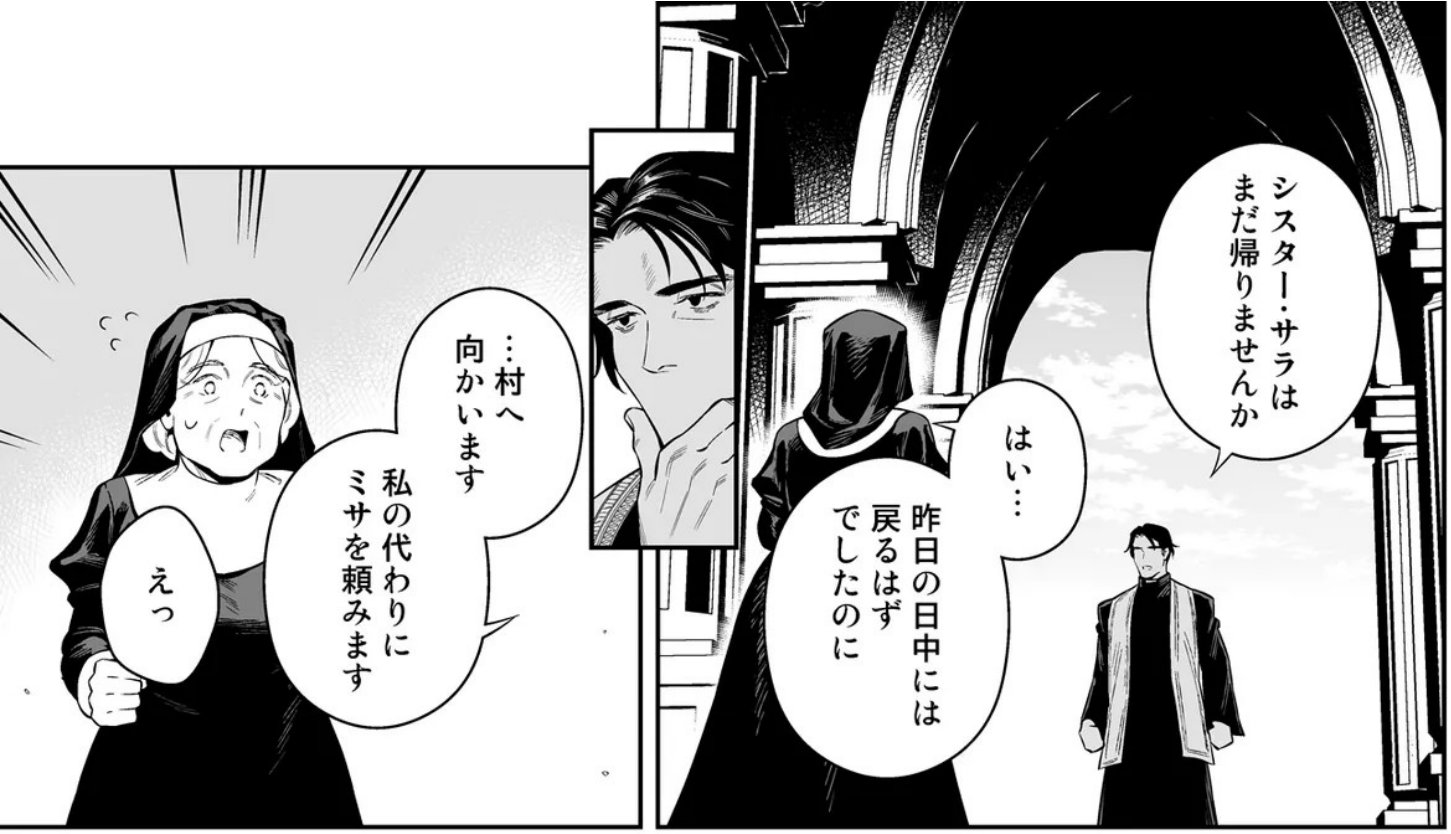

いいえ…
もっとして
欲しい…！
あッあッ
あぁ…
あぁ
ずりゅッ
ビクッ
ビクビクッ
ずりゅッ
ずりゅッ
ずりゅッ
もう言い訳
できません…
わたし…
姦淫の快楽を
知ってしまいました…
うぃゅん…
うぃゅん…
はーーっ
ああ…
神よ…
どうか
お許しを…
はーーっ
はーーっ
んんッ
グリ
グリ
グリ
グリ
グリ
グリ
胸が…
苦しくて…
張り裂けそう…っ
トロ…♥
あ…
は…あ♥
い…やぁ♥
ガリガリ
ガリガリ

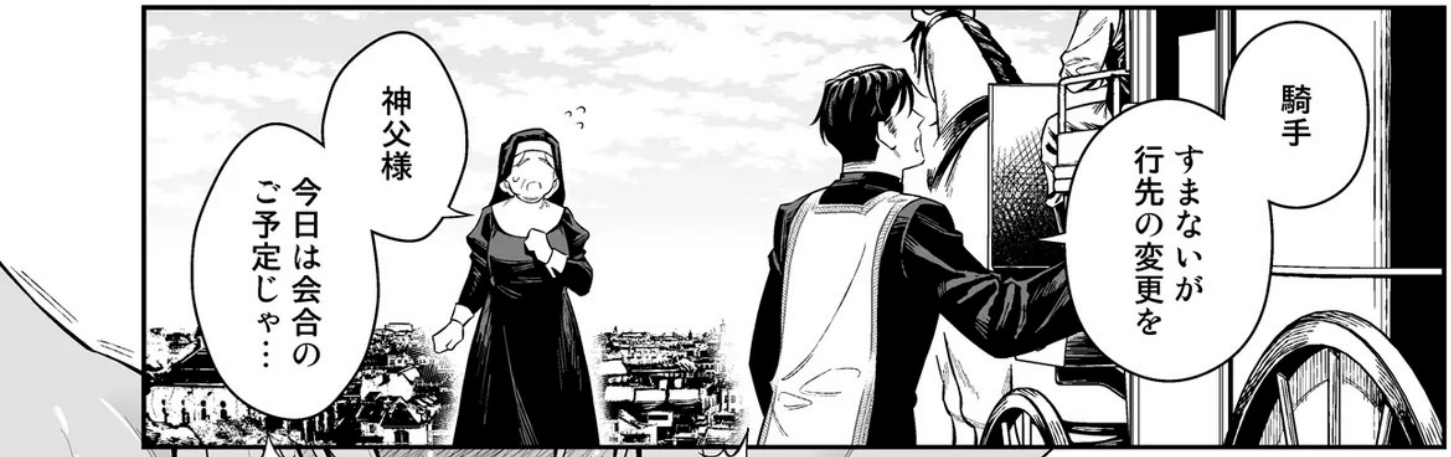

うあ…
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
お…ッ
あぁ…あ…ッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
え…!?
なぜ…!?
私の身体
どうなって…
!!!!
ズブッ
ズブッ


ああッ
すっ…
吸われてる…ッ
私のお乳が…
まだらちゃんに…ッ
あっ
あっ
あ…っ
ッ…なに…
この感覚…
私そのものが…
流れ出ていく
みたい…っ
はッ
はひッ

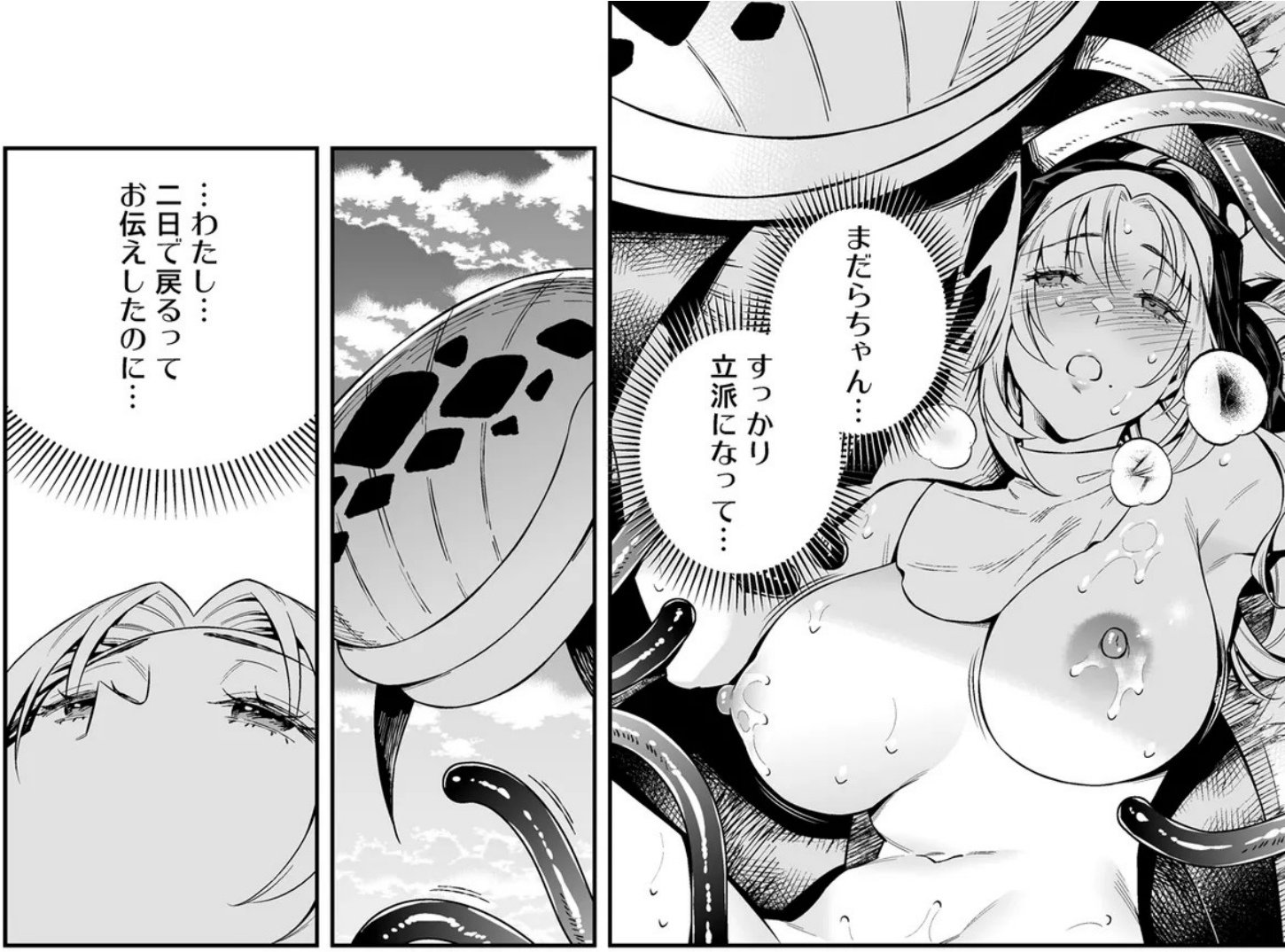

私がまだらちゃんの中に入って…
溶けて…
混ざって…
ひっ…
一つに…なる…ッ
授乳時に分泌されるオキシトシンは
母体に多幸感・恍惚感をもたらし
相手への愛着を促進する働きがある


私のお乳を飲んだまだらちゃんは…
私の子なのでは…？
つまり…
私は…
この子の母になったのでは…？
これは
姦淫などではなく
尊い愛の行為なのでは

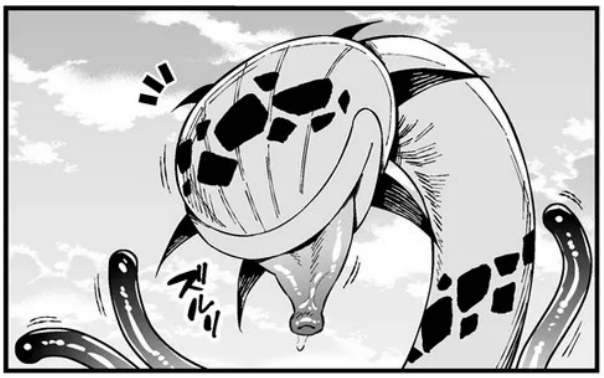

シスター・サラは
まだ帰りませんか
はい…
昨日の日中には
戻るはず
でしたのに
…村へ
向かいます
私の代わりに
ミサを頼みます
えっ


騎手
すまないが
行先の変更を
神父様
今日は会合の
ご予定じゃ…


そんなもの
どうとでもなる
ハーーッ♥
ハーーッ♥
ハーーッ♥
ぷるるっ♥
ぷるるっ♥
ぷるっ♥
じん♥
じん♥
じん♥


まだらちゃん…
すっかり
立派になって…

…わたし…
二日で戻るって
お伝えしたのに…


ズル…






あ…
違うんです
蜜はもう
大丈夫


まだらちゃん
…聞いて
私の帰りを
待っている
人がいます
シュルッ
心配しないで…
お別れでは
ありません


あなたが街で
暮らせるよう
相談してみます
私一人では
難しくても…
知恵を募れば
きっと…
必ず
迎えに来ます
私たち
家族だもの


…いい子
ぎゅ…
…ありゃ確かに
教会のシスターだ
ズッ…
魔物と
デキてる
な？
言ったろ？
動くみたいだぞ
頭に報告するか
まあ待て
先に俺らで
味見しても
バチは当たらねえよ


やあやあ
ジャリ…
ハッ
ハッ
ハッ
ドクン
野盗？
ごきげんようシスターさん
そんなにお急ぎでどちらへ？
旧道にある廃坑に住み着くようになったならず者たちです
街へ早く行けるのでもしかしたらシスターは旧道を通ったのかも…
そこで野盗と鉢合わせた可能性も…


そんな情報は初耳だ
ギルドは何をしているんです
いくつかの拠点を転々として
足取りが掴めないとかで…


ガラリ
村の皆も用心するように！
街へ引き返す
ギルドに直談判しなければ


ドクン
ドクン
ドクン
おっ お金も貴重品も持ってません
どうか離してください
へへ… 分かってねぇな
アンタ自身が商品なんだよ


あッ
あッ
あッ
この身体なら
もっと似合いの
仕事があるぜ？
魔物なんかより
人間相手に
する方がいいだろ
グニ
グニ
グニ
グニ
グニ
!?
見られてた
なんて…っ
いッ…
いや…ぁ…
ズン
ズン
ズン


うんま…
母乳ってこんな
甘かったか？
前 馬車を
襲った時に
赤ん坊抱いた
女がいたろ
あいつの母乳は
もっと薄味だった


あれか
ガキを人質にしたら
大人しく股開いて
最高だったな～
母親ってのは
子供のためなら
なんでもするからな
…なんて
なんて
罪深い人たち


もう…
おやめなさい
これ以上罪を
上塗りするのは
神は
あなた達の非道を
全て見ておられ…
あッ
じゃあ神サマに
助けてもらえば？
こんなに濡らして
期待しまくってる
くせによ
はあッ
あっ…あ
おらおら
神サマ見てっか～？
早くしねぇと
挿入(はい)っちまうぞ～？

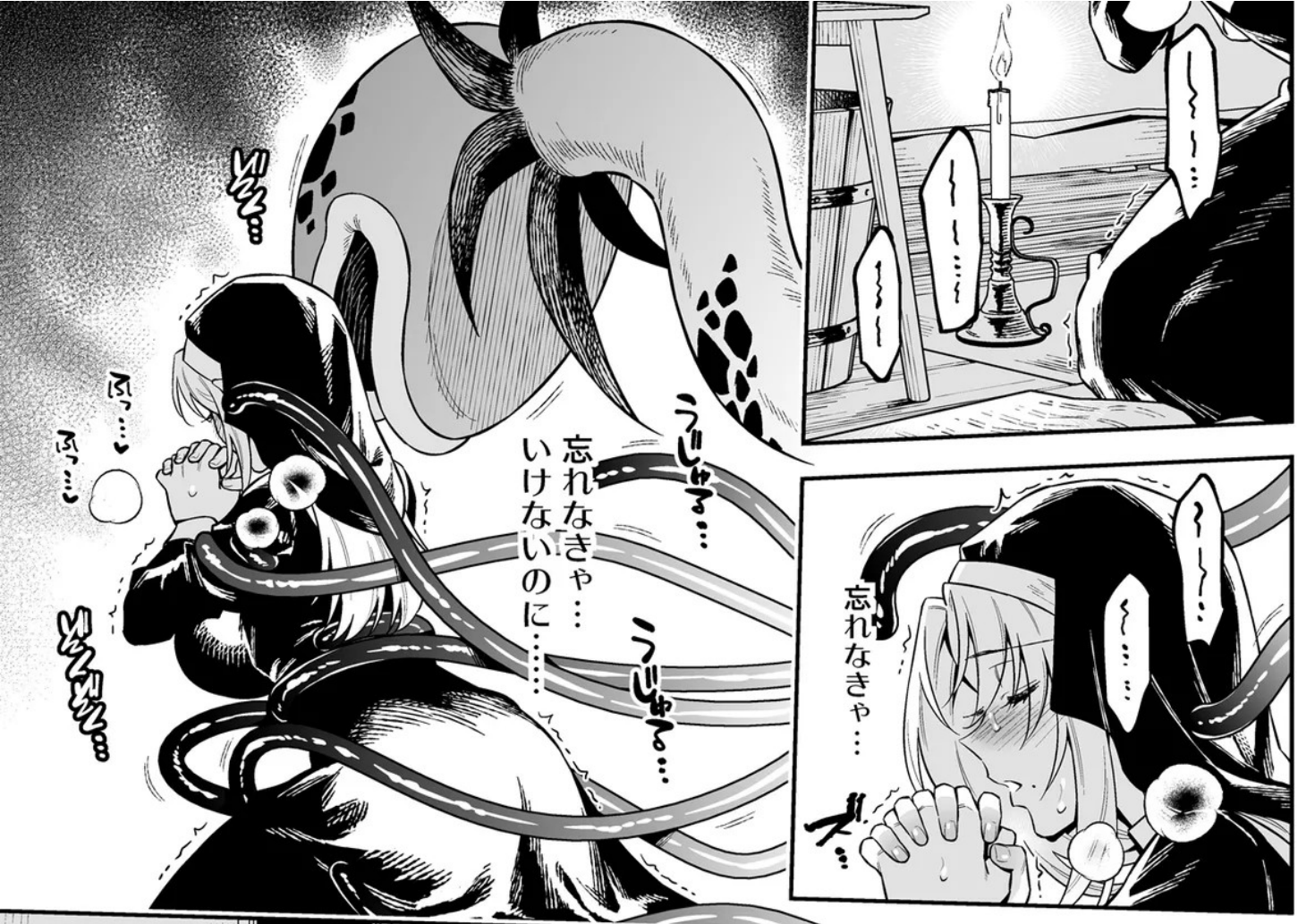

ズルッ…
おぶッ…!!!
ゴゴゴゴ…
なッ…!?
なんだ
今のは!?
まだら
ちゃんだ
まさか
さっきの魔物か?
てめぇが
指示してんのか!?
ばかッ
大声を
出すな…!
いッ…
ぐあッ…!!!
ズボッ!!


私を守るため…？
でも…こんな…
クソ…ッ
冗談じゃねぇ…
こっち来い
二人もやられて
おめおめ帰れっかよ
ズ…
ズズズ…
ゴゴ…
ゴゴゴ…
デデデ…
デデデ…
デデデ…
パラパラ…
パラ…


はっ
早く…
早くここから
離れなくては…!!


シスター・サラ…!?
ずいぶん
遅かったでは
ないですか
神父様…


申し訳ありません
その…
少し道に迷ってしまいまして…
隣村へは何度も行っているでしょう
……
…すみません
疲れているので失礼します
おやすみなさいませ神父様
パタン
眠れるわけがない
バタン
なんなのでしょう…この体の疼きは…
はー
はー
まだらちゃんに触れられたところが熱を持っているよう…
ゾクン…
ゾクン…
ゾクン…
…ﾊﾝ…
神よ…
どうかお救いください…
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン


忘れなきゃ…
忘れなきゃ…
いけないのに……
うじゅる…
うじゅる…
ぶっ…
ぶっ…


忘れなきゃ…
コンコン
ビクッ
部屋の明かりが
見えました
まだ
起きていますね？
シスター・サラ
神父様!?
ここは
女子寮なのに


何か心に
抱えているものが
あるようですが…
よければ告解室で
私にすべて
話してみませんか
もちろん
秘密は守ります
告解室…


いえ…
そんな
神父様に
お話しするほどの
ことではありません
急いで
帰ってきたから…
…体が…その…
火照ってしまって
なかなか
寝付けないだけで…
…そうですか
落ち着けるよう
温かい飲み物を
用意しました
これだけでも
受け取ってください
いい夢を
シスター・サラ


ギィ…
もういない…


ここにいるのを
誰かに見られたら
神父様でも
咎められて
しまうのに…


よほど心配させて
しまったんですね…
…おいしい
甘くて
とてもいい香り


…今日の
まだらちゃんとの
〝あれ〟は


姦淫
というものでしょう…


神の教えにおいて
姦淫は大罪です…
まだらちゃんが
食事のつもリ
だったとしても…
私にとっては……
ドクン
ドクン
ドクン
ぐら…
急に……
…睡魔が…
だめ…
せめて…
身体を
清めてから…
ボフッ
コツ
コツコツ
コツ
ギィィ…
スー…
スー…
スー…


きゅっ
深く
息を吸って
吐いて…
ポゥ…
力を
抜きなさい
あなたの意識は
だんだんと
落ちていき…
仄暗い水底(みなそこ)の
貝の中に
囚われました
これから
あなたの肉体に
何が起きても
意識まで
届くことは
ありません
ゴポポ…


…初めて私に嘘をつきましたね
サラ
あなたも大人になったということでしょうか…
しかし神父として…また養父としてあなたの全てを把握しておきたい
隅々まで検めていきますよ

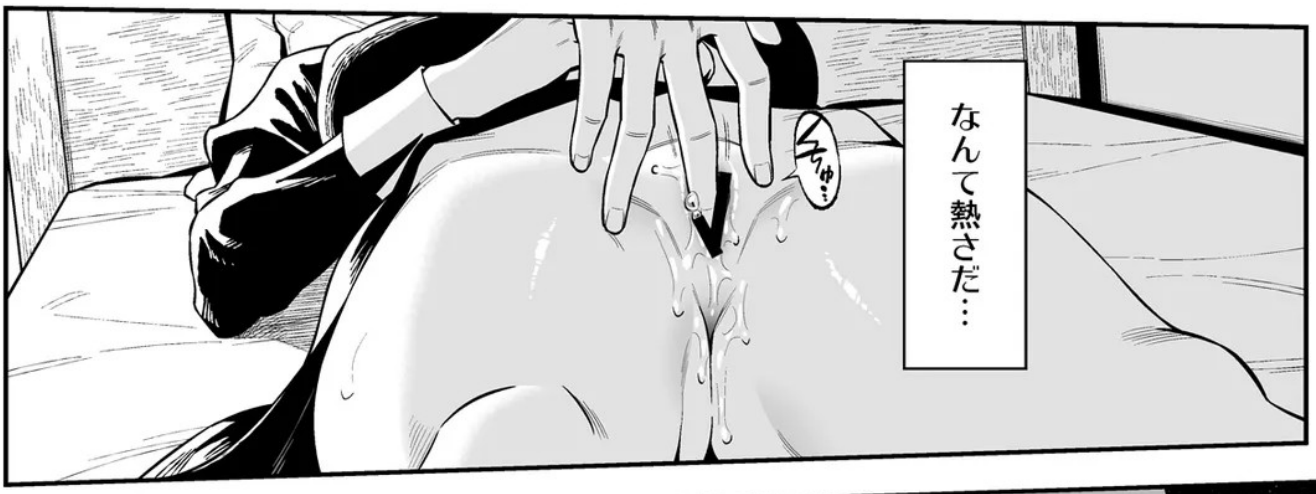

これは…
…！


…服や下着が汚れている
暴漢に襲われたか…？
フル…
体には擦り傷もある…
包み隠さず話してくれたらよかったのに…
やはり一人で行かせるべきではなかった


神よ…
女体に触れる
罪を犯すことを
お許しください…


トロォ…




なんて熱さだ…


やわらかく
解れていて
何の抵抗もなく
指の侵入を許す…




粘液が
止めどなく溢れて
絡みついてくる


サラに
苦悶の表情はない
むしろ…


はっ…ッ♥
……♥
……ッ♥
きゅ♥
きゅーっ♥
ぴくん
ぴくんッ
ぴくん
ぴくん
ちゅぽっ
はっ♥
はッ♥
はッ♥
ぴくん
ぴくん
ぴくん


…この姿を他の男も
見たのだと思うと
そいつによって
サラが破瓜を
迎えたのだと思うと


どうしようもなく
どす黒い感情に
塗り潰されそうになる
今すぐ
屠ってやりたい…
サラを手籠めに
するような外道に
救いなど
ありはしない


神よ…
どうして
このような試練を
与えるのですか
クチュ…
クチュ…
クチュ…
はっ
はっ
はっ
ビクッ
ビクッ
ギシ…
ギシ…


この身を
切る思いも
報われないのなら
ムク…


いっそ
聖職者である
ことなど忘れて
ただの
男と女になって
はーっ♡
はーっ♡
はーっ♡
ビクッ
ビクッ
ズッ
ズッ
ズッ
グチャ
グチャ
グチャ
グチャ
グチャ
本懐を遂げて
しまおうか——


あ…ッ
ぞくっ
は…あぁ…ッ
ぞくぞくっ
はーッ♡
はーッ♡
あぁあ…あ…ッ♡
はーッ♡
ビクッ
ガクガクガク
ボタボタ
ボタッ
ガクガク
だめだ…
それだけは…
はーッ♡
はーッ♡
はーッ♡
はーッ♡
ビクッ
ビクンッ
私まで外道に
身を落としてしまう…
…いや……
薬を盛ってまで
姦淫してる私も
同じ穴の狢だ


ギシ…
朝の鐘の音で
貝が開き
あなたの意識は
ゆっくりと
浮かび上がるでしょう
キィ…ン
今日のことは
全て夢と思って
忘れなさい
新しい一日に
神のご加護が
あらんことを
ゴ――ン…
ゴ――ン…
ゴ――ン…
ゴパァ…
ポヤ